

107 縦隔腫瘍における<sup>67</sup>Ga-citrate scintigraphy の評価

鹿大 放

城野和雄, 島袋國定, 坂田博道, 中條政敬, 篠原慎治

<sup>67</sup>Ga-citrate は腫瘍スキャン剤として広く用いられているが, 悪性腫瘍のみならず, 炎症性病変などの良性疾患にも集積し, 必ずしも腫瘍特異性を示すものとは言えない。

今回, 我々は, 臨床的に縦隔腫瘍が疑われ, <sup>67</sup>Ga-citrate scintigraphy を施行した患者のうち, 手術・生検・剖検により確定診断が得られた 33 例について, <sup>67</sup>Ga-citrate の集積の有無や程度に関する検討を行ない, その集積の有無が縦隔腫瘍の良性・悪性の鑑別にどの程度寄与するかの評価を試みたので報告する。

対象 33 例の内訳は, 悪性 17 例, 良性 16 例で, 前者は, 悪性リンパ腫 11 例, 悪性胸腺腫 6 例で, 後者は, 良性胸腺腫 4 例, 胸腺過形成 3 例, 類皮のう胞 3 例, 神経原性腫瘍 3 例, リンパ管腫 2 例, 気管支性のう胞 1 例であった。

<sup>67</sup>Ga-citrate の投与量は 1 ~ 3 mCi で, 静注後 48 時間目に正面, 背面, 側面にて撮像した。また, シンチグラムの判定は, RI 集積が, 病変部に認められないものを(-), back ground より高いが, 肝の activity より低いものを(+), 肝の activity と同程度ないし, それ以上のものを(++)とした。

以上の判定基準にもとづいて検討した結果, (1) 悪性縦隔腫瘍における <sup>67</sup>Ga の陽性率は,  $16/17$  (94%) で, 良性では  $3/16$  (19%) であり, 良性のうち <sup>67</sup>Ga の集積陽性の 3 例は, いずれも胸腺腫であったが, 集積の程度については, 悪性胸腺腫に比べてやや低いようであった。(2) <sup>67</sup>Ga 集積陽性の場合, 悪性である比率は  $16/19$  (84%) で, 集積陰性の場合, 良性である比率は  $13/14$  (93%) であった。(3) 集積陽性を悪性, 陰性を良性と判定した場合の正診率は  $29/33$  (88%) であった。

以上の結果から, 縦隔腫瘍における <sup>67</sup>Ga の集積の有無は, 良性・悪性の鑑別に有用であると考えられた。

108 縦隔洞悪性腫瘍の <sup>67</sup>Ga イメージング

愛媛大 放射線科

河村 正, 棚田修二, 石根正博, 小松 見,

飯尾 篤, 浜本 研

国立松山病院 放射線科

大島 郁代

各種縦隔洞悪性腫瘍患者に <sup>67</sup>Ga シンチグラフィを行って病巣描出の意義を検討し, さらに治療後長時間にわたって追跡したのでその成績を報告する。

縦隔洞, 肺門部に病変の存在する肺癌患者 22 例, 悪性リンパ腫患者 15 例, 食道癌患者 13 例, その他 11 例に放射線治療<sup>1</sup>治療中, 治療後に <sup>67</sup>Ga 2 m Ci を静注投与して, 72 時間後にシンチカメラを用いてシンチグラフィを実施して, その成績を X 線学的検査による成績と比較した。

治療開始前に明確に病巣の存在およびその範囲を描画し得た陽性例は肺癌 22 例中 20 例 (91%), 悪性リンパ腫 15 例中 13 例 (87%), 食道癌患者 13 例中 10 例 (77%) で, 全体では 86% であった。

放射線治療終了直後に行った <sup>67</sup>Ga シンチグラフィの成績は以下に述べる 4 群に分けて検討した。(1) positive (2) false positive (3) negative (4) false negative。

肺癌では 20 例中陽性 6 例, false positive 4 例, negative 8 例, false negative 2 例であった。

false positive 4 例中 2 例は放射線肺炎を治療終了後発症して, この病巣に <sup>67</sup>Ga が集積したと考えられ, ステロイドおよび抗生物質投与で <sup>67</sup>Ga 集積は漸次減少して消失した。他の 2 例は現在追跡中であるが, 1 例は治療終了後, なお縦隔洞に集積がみられ, 2 ヶ月後には減少して 5 ヶ月後には消失して治療の影響による非特異的集積と考えられた。他の 1 例はなお集積巣が 3 ヶ月後にも存在して現在追跡中である。

<sup>67</sup>Ga シンチグラフィは肺門部, 縦隔洞の悪性腫瘍の診断および経過, 治療効果の把握に有効であると結論された。なお放射線治療の影響によると考えられる false positive 例, および false negative 例について経過観察を行ってその検討成績を報告する。